

拝啓 今年も早や4月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。桜の木もすっかり若葉となり、近所の公園では、ハナミズキがピンクや真っ白な花を天に向けて咲いています。

今回も、「小西芳之助先生金曜会話録」からの引用です。今回の部分は、丁度私が大学に入った頃の話で、あれこれ当時を思い出しながら読みました。

4月25日、薛恩峰先生の会が開かれ、東京駅八重洲口のホテル27階にあるレストランで昼食を頂きながら、楽しい会話のひと時を過ごしました。その後、甥の病氣見舞いに墨田区のマンションを訪ねた際、近所に本所緑星教会があることを知り、急に訪ね、牧師の矢吹和夫先生と立ち話でお話しました。礼拝堂は、広野記念会堂となづけられ、昭和32年に建立されたとプレートにありました。たまたま今月号のエンカウンターの最後の頁の写真に、モーク先生と学生時代の小西先生、広野捨二郎先生の写真が写っています。小西先生は、学生時代広野先生をモーク先生の所へ連れて行って紹介しました。広野牧師は、昭和20年3月10日、江東地区の大空襲のとき、迷っている人達を連れてくると言い置いて、煙の中に愛息とともに突入して、命を落とされました。小西先生は、戦後牧師になった時広野先生の弔い合戦をするのだと考え、最初本所緑星教会の伝道師になりましたが、礼拝説教で内村鑑三の言葉ばかり話したため、信徒から受け入れられず、本所緑星教会を去りました。その後、石館先生の家敷地の一角で高円寺東教会が開かれることになりました。広野先生の奥様の薫様とは、私も西早稲田のエルマー先生宅で開かれていたバイブルクラス（金曜日の夜）でご一緒し、高田馬場駅までよく一緒に話をしながら帰りました。

4月18日、一泊で逗子のKKR松汀園に泊り、大学時代の山の会の友人と旅行会をしました。7人の参加でしたが、この会は40年前、家族連れ参加で始まり、40年間、私が万年幹事を務めています。古い山の友達はいいなあ、という感想です。土曜日は、そのうちの一人奥平哲彦君と、逗子開成高校にある「真白き富士の嶺」の歌碑を訪ねたあと、逗子資料館で徳富蘆花の展示を見ました。「真白き富士の嶺」のボートの遭難のあったのが、明治43年1月23日、徳富蘆花が一高で「謀反論」の講演をしたのが、明治44年2月1日でした。

妻の甥が、転移性の脳腫瘍の手術を受け、術後のリハビリのために、交代で自宅に通い、付き添っています。病氣治療をされておられる方のご平安を祈り申し上げます。桜も終わり、新緑があふれる一年で最も良い時期を迎えています。皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

敬具

山口周三

平成27年4月27日

エンカウンターの読者各位